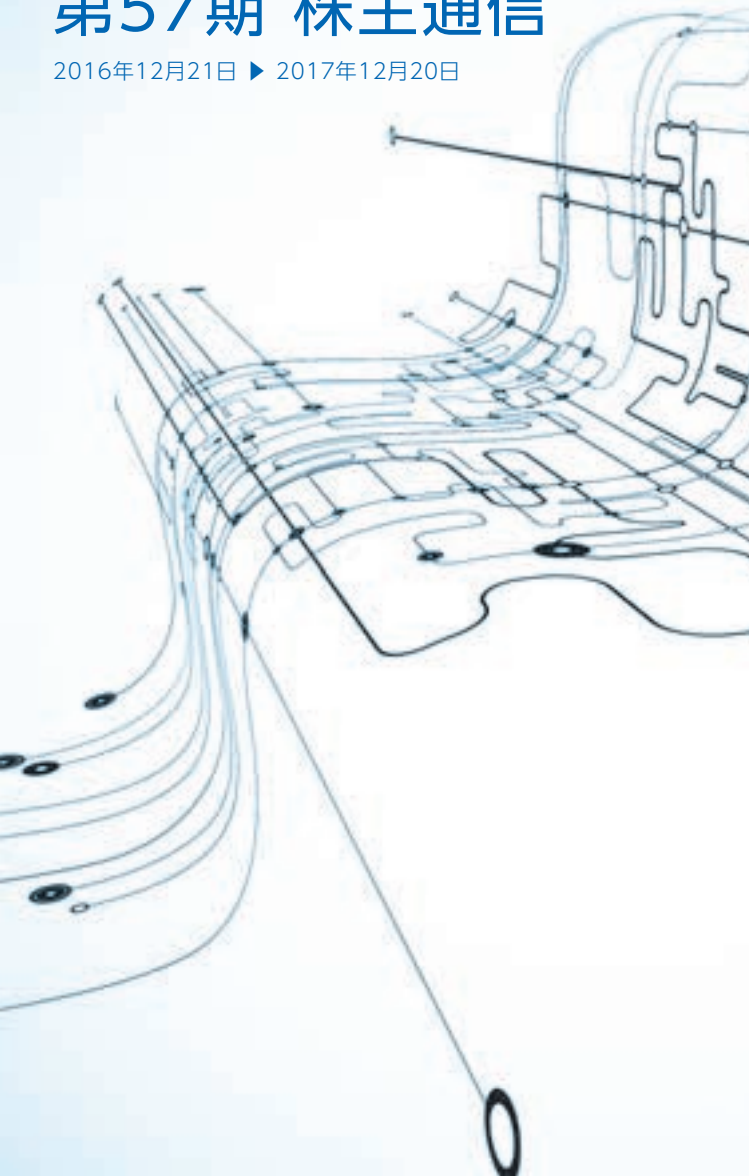


株主のみなさまへ

第57期 株主通信

2016年12月21日 ▶ 2017年12月20日



太洋工業株式会社

TAIYO

販路の開拓を着実に進め、中長期の成長を見据えた経営を推進していきます。

—— 当期の市場環境と決算について教えてください。

電子基板事業や基板検査機事業の不振により、厳しい決算となりました。

2017年12月期連結決算では、厳しい経営環境の中、当社では第一にコスト削減や業務の効率化による収益力の強化に努めたものの、主力の電子基板事業においてはディスプレイメーカー向けのFPC(フレキシブルプリント配線板)の受注が減少し、基板検査機事業においては中国市場で外観検査機の受注獲得に苦戦しました。その結果、当期は減収営業損失となりました。

—— 業績の回復に向けた具体的な取り組みを教えてください。

収益力強化に向けた事業体制の見直し及び販路の開拓を着実に進めていきます。

まず収益力を更に強化するために、主力の電子基板事業において3つの取り組みに注力します。1つ目は、受注案件ごとの売上総利益率の向上に向けて、量産加工で求められるUL規格*の取得範囲を拡充する等、設計

業務や加工の内製化をより一層進めます。2つ目は、社内見積システムを再構築します。手間のかかるFPC試作の見積作業を大幅に省力化し、業務の効率化を図っていきます。3つ目は、新たな販路の開拓に向けて量産受注体制を強化します。国内外で信頼できる提携先を新たに確保し、品質やコスト、納期の面でお客様のニーズに対して的確に応える体制を整えることができました。これらの取り組みに対して、お客様から既に引き合いをいただいております。更には、当社が得意としている小ロットFPCの試作対応を先進のICT(情報通信技術)に関わるベンチャー企業や大学、研究所等に提案していくことで、新たな需要を開拓していく考えです。

—— 2018年度の業績見通しはいかがでしょう。

強みを活かした事業展開で業績の回復を図ります。

中長期の成長を見据えて、自社の強みを活かした販路の開拓や、得意技術に基づくアプリケーションの提案

を急ピッチで推進していきます。当社の強みである「極薄FPC」や「テキスタイルFPC」など高難度FPCを、自動車、医療機器、ロボットなど今後需要が見込まれる各分野に対して積極的に営業展開していきます。IoT(物のインターネット化)を背景にFPCの新たな可能性を実感しており、独自技術を「メイド・イン・太洋」として国内外に広くアピールしているところです。また、商社事業において回路設計や検査機における機構設計で培った技術を活かして、産業用ロボットを使用した製造ラインの自動化の案件を受注する等、得意技術を多方面で活かす取り組みが進んでいます。

2018年度は、スマートフォンの需要動向など市場環境に不安要素はあるものの、前述の取り組みをひとつひとつ結実させ、株主の皆様のご期待にしっかり応えていきたいと考えています。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

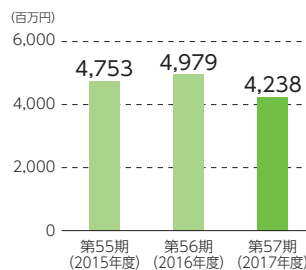
*UL規格とは、多様なものに対して規格適合試験を実施し、その安全性を確かめた上で規格適合認証を行うアメリカの非営利機関で制定された規格。



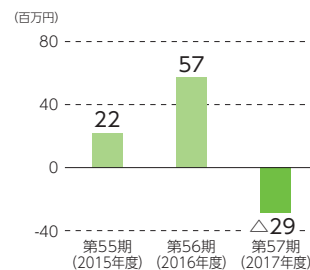
代表取締役社長
細江 美則

業績ハイライト

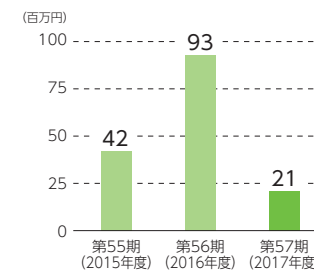
売上高



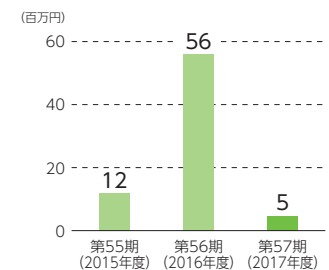
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



エレクトロフォーミング加工技術による高い寸法精度で新たなフィールドへ

当社が長年培ってきたFPCの設計・製造ノウハウとエレクトロフォーミング(超高精細電鍍)加工技術を融合することで、精密実装へのニーズの高まりに対応したメタルマスク*を開発し、販売を開始しました。

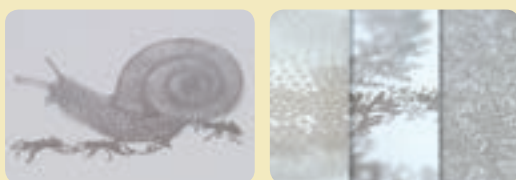
また、同様にエレクトロフォーミング加工技術を利用し、切削加工では難しい微細で繊細な切り絵等のクラフト製品をニッケル金属で表現した「メタルクラフト」の販売も開始しました。

*メタルマスクとは、電子基板に電子部品を実装する際、はんだを塗布するために用いる版。



拡大図

エレクトロフォーミング加工によるメタルマスク



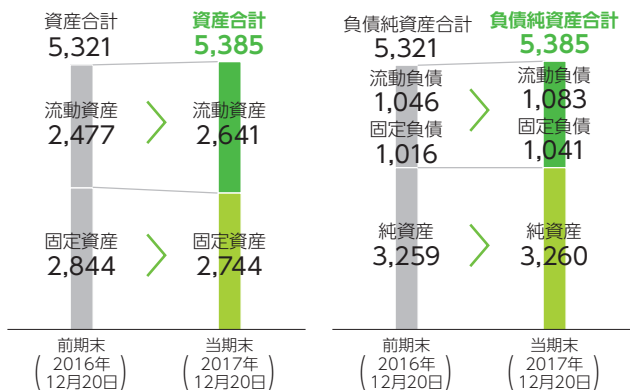
メタルクラフト例

第58期(2018年度)連結業績予想

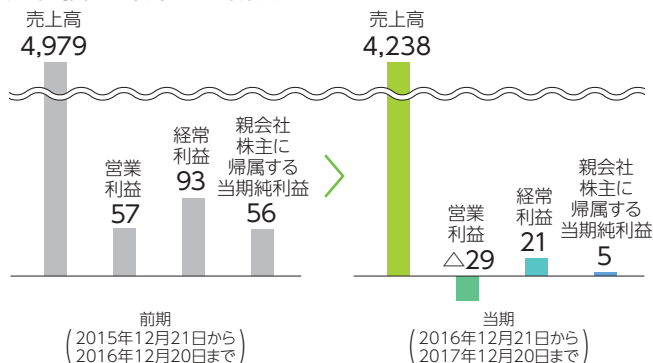
売上高	46億58百万円(前年同期比 9.9%増)
営業利益	40百万円(前年同期は△29百万円)
経常利益	36百万円(前年同期比 67.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	10百万円(前年同期比 90.0%増)

連結財務諸表

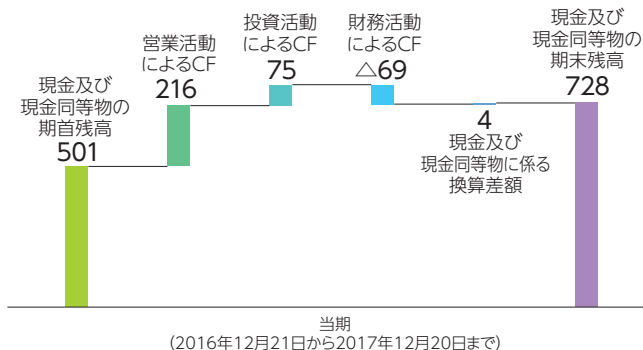
連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



会社概要

(2017年12月20日現在)

社名	太洋工業株式会社
設立	1960年12月
代表者	代表取締役社長 細江 美則
資本金	793,255,000円
従業員	258名(連結ベース)
関連グループ会社	株式会社ミラック TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO.,LTD. マイクロエンジニアリング株式会社 太友(上海)貿易有限公司

役員

(2018年3月16日現在)

代表取締役社長	細江 美則
取締役	坂田 吉啓
取締役	堀井 健司
取締役	上西 令子
常勤監査役	崎前 和夫
監査役	山口 修二
監査役	和中 修二
執行役員	清原 旭
執行役員	高垣 宏
執行役員	田中 清孝
執行役員	水谷 浩

株式の概要

株式の状況

(2017年12月20日現在)

発行可能株式総数	23,280,000株
発行済株式の総数	5,850,000株
株主数	1,978名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社細江ホールディングス	1,600	27.4
細江 美則	600	10.3
細江 正大	480	8.2
太洋工業従業員持株会	311	5.3
株式会社紀陽銀行	290	5.0
紀陽興産株式会社	240	4.1
紀陽リース・キャピタル株式会社	150	2.6
小川 由晃	117	2.0
旭東電気株式会社	102	1.8
七座 恵津子	60	1.0

(注) 持株数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示、また持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第二位を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年12月21日から翌年12月20日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年12月20日
中間配当金受領株主確定日	毎年 6月20日
定時株主総会	毎年 3月20日まで
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL(0120)094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード) (証券コード6663)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.taiyo-xelcom.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

TAIYO INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地
TEL(073)431-6311(代) FAX(073)432-5469

